



飲食児の栄養物に

乾餾五十貫を寄付

四倉水産補習校の製造する

更に比佐賢司氏が五十圓

縣では本年の饑饉による養蚕 藤心光、大内民恵氏外十余名の惨状及び水産の令苦因作 出府協議の結果方面委員五十 地に於ける飲食が乳幼児並に 余名が各一圓づゝの支出を贈 妊産婦その他児童に及ぼす影 響の悲惨を救済すべく来る十 町長新妻盛成氏から同町水産補 習校の製造にかゝる餾の養乾 二月から四月まで五ヶ月 間一人當り一ヶ月三圓づゝの 養乾物に贈る旨通達して供 給することに決し縣下二万九 千八百三十名の養蚕者に五萬 九千九百圓の經費を當て 演進り方面委員に援助を求め たので昨十三日午前十時、明 會議事室に同委員の評議員會 を開き會長山崎清三副會長遠 當の給與をなすことになつた

今年の作柄を考へて

種子初採取に注意

農試分場と郡農會から

石城郡農會では本年の水稲作 柄から明年の種子採取に關し 縣農試分場と共に一般農業に 注意を促すべく近く印刷物を 配付の旨であるが冷害のみで なく病害も相當に多かつた今 年の水稲は深種子に万全の手 を講さなければ應てそれが病 害の因になるは云ふ迄もなく 次は種をばらばらと選んでと 種子は病氣のない所から取 るのが原則だがそれが出来 ない場合は害の少ない所か

Table with 2 columns: 姓名, 金額. Lists names and amounts.

常談講座

ヒロイズムはヘロイズムとも云ふ豪勇な勇壯 など云ふ感でヒロイン は勇婦または烈婦、女 丈夫と云つた様なもの 小説或は劇などの女主 人公の副にも通じ失眼 之をヘロインとも云ふ

妹の身賣を悲しむ

兄が爆薬で自殺

昨十三日福島炭礦の坑夫 無情な両親をうらみ

石城郡赤井村の高坂吉三馬場 炭礦坑夫新堀縣中頭城郡形澤 村生れ尾形金三(三三)は昨十三 日午後三時半頃自宅八疊間に 就寝中腹の上にダイナマイト を載せて爆火爆發と共に肉片 を散らして無惨の死を遂げた原 因は目下の不景氣に父太重五 郎母まつ(豊)の間に二七 才を頭として二人の家族で は死者の働く月五十四圓精々の 収入で生活難のため姉二人弟 一人を東京某工場に出稼させ 最近また両親の間に妹をの 二(二)を何れか賣たい相談を してゐると適々湯本町のモツ

不景氣とは云ふが

なか／＼相當なもの

炭礦の好況に恵まれる平花街 一人平均月に二百は出る

平町に於ける花柳界の景氣は 同町現在の紅箱は本玉六十八 炭礦の好況に恵まれて昨上半 年は稍良好と云はれ炭礦屋は 頭から十名位は積金をそう話 は弟々暮から春にかけての新 子の止込みを準備して来たが 一同行間本玉乃至百五十本が

上の口で少ないのは二、三 十本と云ふ悲愴なものもある 之れ等を引括めて一ヶ月平均 二百と見て當らずとも遠くは あるまい次へで仕込み資金を 云へば玉のよひで干圓懸け れば五百圓以下この平均七百 圓懸と云つた所であらう置屋 から云はすれば今年は炭礦景

曲馬園から逃げた

若い男女の駆落り

平で捕はれ取扱詰の云ひ分 行方不明の天幕が元か

目下相馬郡小高町で興行中の 石橋曲馬園内愛知縣警署警 水町生れ鈴木幸一(三三)同愛知 縣春日井郡西春村の大半生れ 字月うめ(三三)は昨十三日午後 十時過ぎ手を携へて曲馬園を 抜け出し上り急いで郷里へ落 び逃げたところを警署の捜へて 今十四日午前一時平署に捕は れ同署の取調べに對し取扱ひ が苛酷な上に収入が少ないう づからつたといひてゐるが 身柄取りに來た曲馬園側の 語るところでは幸一は責任を負つ て運搬その他取扱ひを受け てる天幕の内一枚價五十圓 を失ひそれを追及されたため の逃走に據ねて懇ろになつて

入警兵の 豫備教育

十七日證書交付式

平町の入警兵豫備教育並に現 役兵證書交付及び補充兵の證 書交付と豫備教育は来る十七 日午前八時第一講堂にて前 書交付と豫備教育は来る十七 日午前八時第一講堂にて前 記證書交付式を舉げて施行さ れる爲め補選町河相福三郎君 外五十七名を招集されるが補 充兵の教育は時局が現役兵 に變ることなく今次の事變に 於て第十四師團管下が補充の 殆んど全部を召集せる實跡に

農實組合長會

石城郡勿來町農會では今十四 日農事實行組合長會を農會事 務所に開催したが郡農會から 柴田技手臨席した

他の名で古綿の 打返し注文取り

平町才穂小路三三居住双葉郡 大野村大字下野上宇南金谷三 八一編織工佐山滿(三三)は本年 八月から平町高木綿屋の職 工と詳し石城郡好間村の萩原 炭礦元山寺川某外約二十名か ら打返しの注文を集めた古綿 四十貫(貫目五十五錢づ)價

社告

深谷耕二 右病氣に付退社いたし候 昭和九年十一月十四日 新いわき新聞社

鈴木積善師危篤

石城郡更井村の如來寺住職で 東郡傳通館の主事である鈴木 積善師は傳通館裏通りに幼稚 園を經營するなど社會事業に 東奔西走されてゐたが約一ヶ 月前から病氣の爲め東大島園 内科に入院療養中であるが經 過思はしからず危篤の由

子供だましの ゴム玉飲物

有毒の疑ひ 石城郡那名町仲の市市川岸二 二雜貨商鈴木繁男に於て郡内 高久村の川和久齋藤三郎か ら二十一圓十三錢で仕入れて 一個一錢づゝで賣つてゐるゴ ム玉入の一名シロツツと稱す る子供騙しの飲物に有害性の 着色と甘味をとるにサツカリ ンを用ひられてゐる疑ひのた め昨十三日現品押取調中

岩城太平記

(8)

涙ながらに平八首を打落し 見付られては一大事と死骸屋 敷の内に埋めけり、夜も明け れば山井八右門小姓に討た れたりと騒ぎける族之助大さ に腹を立ち追人を方々へ廻し ける、留野彦右衛門に足輕十 八人相添へ郷戸口へむかひ所の 昏に問へば三人向ひの山陰と 通り申候其後は存じ申さずと 答へけるゆへ跡をしとて追 行く道に迷ひ居る處、彦右



農作今後の 對策に就て

（四） 縣農試本場丁生
當場に於ては七月十日植の
田でもその適法をとつたもの
は愛國植で立派に實をつけて
ゐる、然し右も自ら限度があ
る、元來一毛作であれば早蒔
早植を元則とするのである
から晩植を有利とする譯で
はないが、二毛作と云ふ立場
より經驗的に引合ふ程度の晩
植と云ふことはまた止むを
得ない、

次に稻の刈取り後の處置で
あるが、今年は成熟期が遅れ
るから斯う云ふは青米や乾も
また多からう、青米や乾はい
くら刈取り時期を遅くして
見たところが失せるものでは
なく、そのために却て完全米
の品質を低下するやうでは面
白くない、又刈取り後の乾
燥と云ふ重要な仕事が残つて
ゐるから、一部の態から大部
の損失を招くやうなことが無
い様に適宜自由の成熟程度と
相談して除りに遅れないやう
に留意するのが肝要である刈
り取り後の乾燥の方法並に程
度は昔並年より更に念入り
に充分の乾燥を促すやうに心掛
けると同時に、今年はやら心掛
ける、病害を受けてゐる地方が多
いから、粟の處分には特に厳密
を要し、種子の選擇は勿論、
之れを採用するときの消毒等
今より手ぬかりのない様に心
掛けて置くことである、なほ
田の排水設備や、秋耕等に精
出して行つて置かねば又翌年
の稻作に不利な影響を及ぼす、
品種の選擇や品種並に早中晩

の案配等この際充分に考へて
置くことである、（終り）

若人向、紳士向 冬の中折帽子とネクタイ

- ・特選優秀ソフト Y 2,00
- ・ノノ國産フワ Y 5,50
- ・セラフイツタ帽 Y 6,00

ツルヤ 電話一四〇

鼻の諸病 に快鼻湯

有効保證

本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に内服藥を用ひ金治せざる方々及び手術後再發せし方々も本劑の服用により快癒せられた喜びの禮狀が各地から参つて居ります

効能 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に神効の實験を受く

（快鼻湯）
製劑販賣元 水野藥局
磐城平町一丁目（電話六九九番）
振替口座仙八八七六番

（磐城共濟病院） 福島縣平町電六四一

内科 醫學博士 石山謙一郎
小兒科 醫學博士 賀一忠
産婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
外科耳鼻咽喉科 醫學士 坂本眞一郎
皮膚科 醫學士 前山謙
器病科花柳病科 醫學士 石澤正
X光線科 醫學博士 石山謙
泌尿科 醫學士 高石謙
衛生試驗所 醫學士 高石謙
藥劑科 醫學士 鈴木本平
事務長 鈴木本平
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
病室完備...入院隨意...

平町南町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

美味で評判の
イワキサロン
平町三三二

お醤油はヤマフル

醤油味贈
たひら止宗
鯨節食料品

山崎合名會社
山崎與三郎

明治生命磐城代理店
電話一〇七〇番

安價で効果的な
天然加里肥

最も適應する作物！

蔬菜 馬鈴薯 里芋 しやうが類

（加里肥は、加里の如き比較的粘りに強い作物に施用すれば抵抗力を興へ落葉を防ぎます）

天然加里肥は酸性でないから
如何に施用しても土壌を悪化する虞は絶対にありません

一俵 參拾錢
（大量取引は特に割引致します）

製造販賣 金成國雅
平町南町 電話六八八番

貨物自動車の御用命
に應じます

朝日 煙突は

朝日 煙突

石山謙一郎

朝日煙突

石山謙一郎

朝日煙突

石山謙一郎

安田系統の帝國海上

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内正一
平町二丁目 電話一六番

事務取扱者 阿部助次郎

入院 應 高

明雲堂眼科醫院

平町南町 電話六八九番

●自炊の便あり

新時 附屬事業に等外看護婦部を特
代の 設いたし皆様の御用向へ身元
要求 確實なる婦人を派出致します

平町南町 電話三〇七
會 長 清野キヨ

平看護婦會

經濟的な御
便宜ご用命
をお願致し

御手不足の御家庭輕
い御病人の付添妊婦
産婦の御家庭

平町紺屋町
藤沼醫院

電五〇七番

スペインG・H・N元詰
ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・10

御婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です

（平2） 西村屋藥舗 （電3）

石炭 平町郵便局通り
水野石炭店
電話二九九番

豆炭

コークス

炭

マクネトロン

百萬の富より健康

此新療法で病弱を御試しなさい

「治療代」は當分一回三十錢として居りますが
家庭の事情により割引も施致します

嘘か實か百聞一見御試し下さい

治療所 日中は 城山藥園（電話一〇九）
日後は 一丁目自宅（電話四七〇）

醫師 飯田近治